

宮城タタロ タタロ 評論家。明治二十五年二月一日山口縣生れ、昭和二十五年十一月十九日歿（二八九一—一九六〇）。舊姓植田。奈良女子高等師範學校卒。大正九年大涼社會問題研究所研究員、十一年アメリカに渡り少年保護事業と研究、歸國後初の婦人保護司となる。昭和二十一年參議院議員。官階宮城長五郎の妻。

著書『問題のチカラ』四十年『昭和二十一年十月—二十九年大日本雄弁会

講談社』等